

大学で『社会保険』公開講座

当社代表が人間総合科学大学で講義 健康保険『誕生』の時代背景を語る

当社代表取締役の菊地均は3月23日、人間総合科学大学（さいたま市岩槻区）で開催されました人材育成プログラム公開講座において、社会保険制度をテーマにさいたま市、蓮田市、上尾市などの近隣の地域の方に、わかりやすく講義しました。会場には多く受講生が参加され熱心に聞き入っていました。講義の前半では社会保険の歴史、特に大正11年に成立した「健康保険法」の骨子となった「鐘紡共済組合」の成立の時代背景を熱く語り、また後半では公的年金、健康保険の適用と給付を、わかりやすく受講生に説明しました。

今号では主な講義内容を紹介いたします。

【講義内容（抜粋）】

健康保険は何故、誕生したか

——武藤山治と鐘紡共済組合

我が国の社会保険の成立過程をみますと、健康保険法が大正11年（1922年）、厚生年金保険法が昭和17年（1942年）で、他は戦後に施行されています。1922年に何故、健康保険が誕生したのか。そこには明治政府が推し進めた「富国強兵」政策と、そのことから派生した「女工哀史」が深く関係しています。明治維新によって成立した政府は、日本を欧米諸国に追いつく近代国家へと生まれ変わらせるために、「富国強兵」というスローガンを掲げ、産業の発達と軍事力の強化を目指しました。そのため外貨獲得の手段として、生糸・絹の輸出を推奨し、拡大していきます。

この当時、製糸紡績業は日本の産業の中心的存在でしたが、

その労働人口の70%が女性で、年齢別では20歳以下が全体の60%を占めていました。14歳以下も15%と低年齢の女性労働者が労働の担い手であったわけですから。

当時の紡績工場に勤務する多くの女性労働者は、低年齢、低賃金、長時間労働という過酷な労働条件の下、衛生環境の悪さ、逃亡すれば懲罰が待っている職場で働いていました。そして山本茂実著の「あゝ野麦峠」ある製糸工女哀史（一）にあるような悲劇が全国で起こるのです。しかしそこに一人の人間が現れます。鐘ヶ淵紡績の専務で

あった武藤山治であります。彼は「女工哀史」を無くすため、従業員の「福利・厚生」を実行します。武藤山治は明治35年（1902年）に①「乳児伝育所」を設置します。これは乳飲み子を持つ女子工員のための保育施設で、仕事の合間に伝育所に来て授乳ができるという、斬新な取り組みでした。次に②「寄宿舎」「社宅」などの整備③「職工学校」「私立鐘紡兵庫女学校」などを設置します。また不衛生な職場環境を改善するために④「病院」「細菌検査所」「療養所」などの設置を実行します。そして誰でも自由に提案できるように⑤注意箱の設置、工員の娯楽雑誌となる⑥社内娯楽誌の発行（我が国最初の社内報）などの従業員の福利厚生を積極的に実践していきます。その中で特筆すべきは「鐘紡共済組合」の創設です。この組合は、妊娠中及び産後に働くことが出来ない場合は、一時金を給付するなど、特

に女子労働者を厚遇します。また職務のために負傷した場合は、給料の全額を支給。退職に際しては、男子も女子も年金を支給するなど、当時としては画期的であったと言えます。こうした人間味ある武藤山治の福利厚生は、『女工哀史』の環境から女子工員の『天国』といわれるまでに労働環境を変えていきます。そして鐘紡共済組合は、現在の健康保険制度・健康保険組合のさきがけといわれ、共済組合の定款は大正11年の健康保険法制定の際にもその骨子とされました。

（次号に続く）

特別企画 会場型 公開講座

地域に役立つ人材育成プログラム
～地域の活性化を支える、地域の福祉・医療を支える～

第2回 地域を支えるセーフティーネット

社会保険制度

2024年 3/23(土) 14:00～15:00

会場：人間総合科学大学 蓮田キャンパス 大教室
講師：菊地均先生 年金アカデミー 専任講師
定員：100名
料：無料

社会保険制度は、医療保険（健康保険、国民健康保険等）や年金保険（厚生年金、国民年金）に代表されるように、病気・ケガ、出産や、障害、失業、高齢などの際に一定の割合で社会保険の給付を受けられるため、国民の生活水準の保障と保健医療水準を高いレベルで実現しています。本講座では、その歴史から給付までをわかりやすく解説します。

申込方法
お申し込みは、お電話または下記QRコードよりお申し込みください。
https://form.human.ac.jp/forms/index.php?id=609

お問い合わせ・お申込み
人間総合科学大学 048-749-6111
records@human.ac.jp

この講座は埼玉県年金協会も後援しました



2023 遺族給付Q&A



遺族年金を中心に、「事実婚の夫婦の遺族年金」「障害年金受給者の遺族厚生年金との併給」「父子家庭の遺族年金」「労働者災害補償の遺族給付と遺族厚生年金との併給調整」「相続放棄した場合の遺族年金」など、さまざまなケースにおける遺族給付について、Q&A形式でまとめました。また、遺族給付制度の概要もわかりやすく解説しています。年金相談などに携わる方を対象にした実務書です。

価格 2,750円(税込)

B5判 / 184頁 ISBN978-4-901354-96-7 発行：2023年8月

社会保険審査会 裁決事例集 健康保険編



社会保険審査会による裁決について、令和5年2月現在、公開されているものをほぼ網羅した裁決事例集です。健康保険79事例、健康保険・厚生年金保険共通12事例を収録しました。裁決は読みやすいように概要としてまとめ、そのうち34事例は裁決文も収録。事例には適宜、簡単な解説や周辺情報、関連する法律や通知を付しました。

価格 3,410円(税込)

B5判 / 272頁 ISBN978-4-901354-93-6 発行：2023年3月